

記入例

様式第1号

庄原市奨学金貸付申請書

申請者	ふりがな 氏名	しょうばら いちろう	性別 <input checked="" type="radio"/> 男 <input type="radio"/> 女	生年月日 昭和・平成 ○○年○○月○○日生		
	現住所	〒727-8501 (電話) 0824-73-1182 庄原市中本町一丁目10番1号				
	在学する学校等	学校名: 庄原市立○○中学校 第3学年 令和○○年○○月○○日 (修了・ <input checked="" type="radio"/> 卒業) 予定				
		学校名: 広島県立○○高等学校 普通科 第1学年 令和○○年○○月○○日 (進学) 在学 予定				
保護者	氏名	庄原 太郎 (電話) 0○○-○○○○-○○○○				
	現住所	〒727-8501 日中に連絡の取れる連絡先をご記入ください。 庄原市中本町一丁目10番1号				
家族構成等	氏名	続柄	年齢	氏名	続柄	年齢
	庄原 太郎	父	○○			
	庄原 花子	母	○○			
庄原 次郎	弟	○○				
内訳	期間: 令和○○年 4月 から 令和○○年 3月 まで (36月分) 月額: 18,000円 × 36月分 = 648,000円					
申請事由	(家庭の経済状況等について) 【記載例】両親は自営業を営んでいますが、収入が一定ではなく、2人兄弟で学校の学費がかかるため、今後の両親の経済的負担を軽減したいと考え、庄原市奨学金の貸付を希望、申請します。					

庄原市奨学金の貸付を受けたぐ保護者連署のうえ関係書類を添えて申請します。

については、記載事項は事実と相違ありません。

また、庄原市奨学金貸付条例第3条第6号について確認するため、市税の完納状況を調査することに異議なく承諾します。

令和○○年○○月○○日

庄原市長様

申請者

住所 庄原市中本町一丁目10番1号

(本人)

氏名 庄原 一郎

父母等

住所 庄原市中本町一丁目10番1号

氏名 庄原 太郎

住所 庄原市中本町一丁目10番1号

氏名 庄原 花子

それぞれ、必ず本人が自署してください

※押印は不要です。

記入例

申請区分	1. 高等学校・専修学校（高等課程）		2. 大学	
	3. 短期大学・専修学校（専門課程）		4. 高等専門学校及び各種学校等	
	A. 国公立 <input checked="" type="radio"/> ア. 自宅通学	B. 私立 <input type="radio"/> イ. 自宅外通学	他の奨学金利用の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
家庭の状況	母子・父子世帯			
	<input checked="" type="radio"/> 就学者のいる世帯			
	障害のある人のいる世帯		人 数	人
	長期に療養を要する人のいる世帯		年間金額	円
	主たる家計支持者が別居している世帯		年間金額	円
就本人学を除く者	氏 名	※公私別	※就 学 状 況	※通学別
	庄原 次郎	国公・私	小・中・高・大・高専・専修(高・専)	<input checked="" type="radio"/> 自宅・自宅外
		国公・私	小・中・高・大・高専・専修(高・専)	自宅・自宅外
		国公・私	小・中・高・大・高専・専修(高・専)	自宅・自宅外
		国公・私	小・中・高・大・高専・専修(高・専)	自宅・自宅外
		国公・私	小・中・高・大・高専・専修(高・専)	自宅・自宅外

- (注) 1 ※の箇所は該当するものを○で囲むこと。
 2 家庭の状況は該当する欄に○をすること。
 3 障害のある人がいる世帯は、障害のある人の人数を記入してください。
 4 長期に療養を要する人のいる世帯は、療養のため経常的に特別な支出をしている年間金額を記入してください。
 5 主たる家計支持者が別居している世帯は、別居のために特別に支出している年間金額を記入してください。

【添付書類】

- ・ 父母又は扶養義務者の最新の市県民税課税台帳記載事項証明書（所得証明書）
- ・ 父母又は扶養義務者の住民票（謄本）の写し
- ・ 家庭の状況による控除を受けようとするときは、それを証明するもの